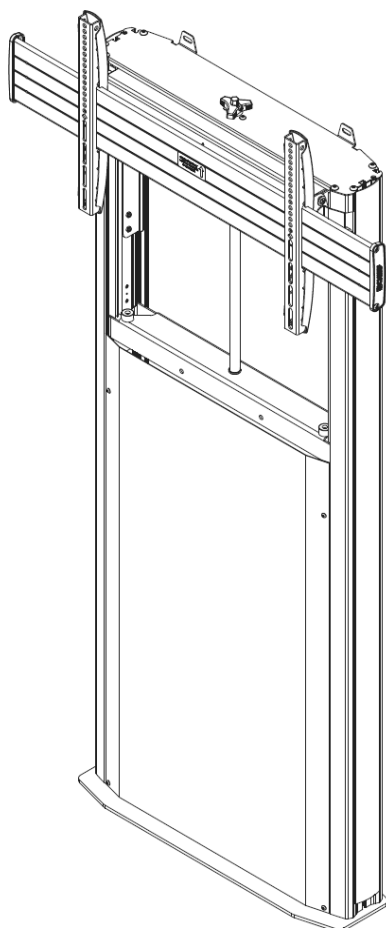


取扱説明書



フラットベースタイプディスプレイスタンド

型番 XFA1U



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- 高さ調整をする場合は、ディスプレイを取り外した状態で行ってください。
- 作業は必ず2名以上で行ってください。
- 不注意や誤った取扱いをすると、人が死亡または重大な事故につながる可能性があります。
- 大地震など想定外の要因により、万一転倒しても、人的被害が発生しない場所に設置してご使用ください。
- 地震発生の際には、すみやかに本製品から離れてください。

安全上のご注意

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生可能性がある内容を示しています

-  警告：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。
-  警告：取り付けしているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。
-  警告：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。
-  警告：ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。
またケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。
-  注意：運送による破損の可能性があるので、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設 置 の 前 に

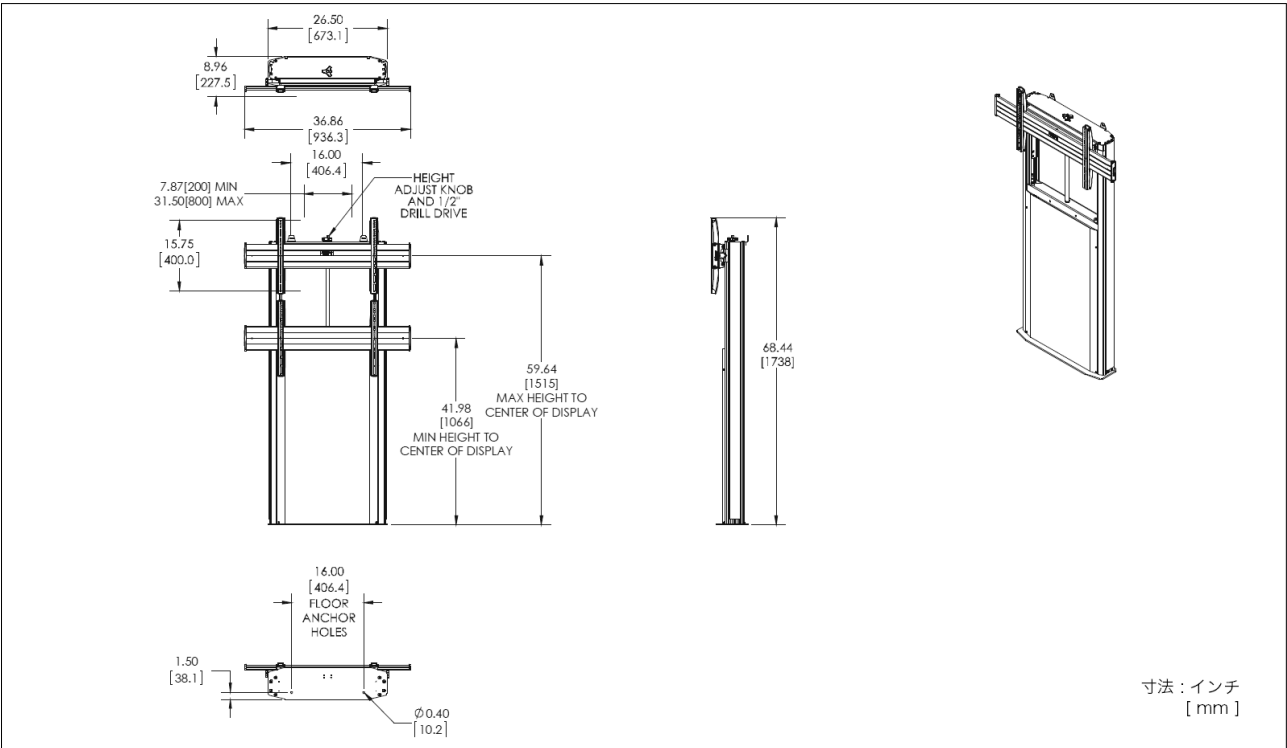
■ 設置場所について



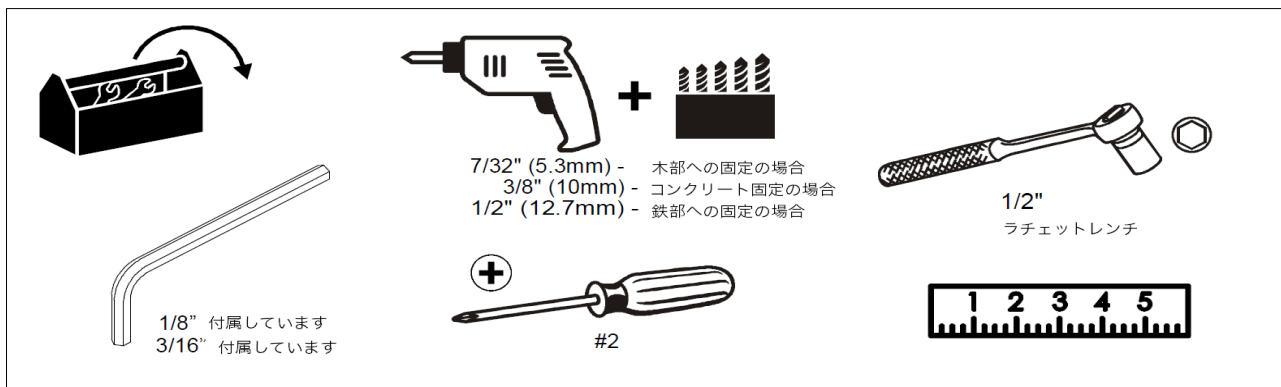
- 本製品とディスプレイを設置する場所は、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる場所に設置してください。
- 設置の前に、ディスプレイを含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、耐荷重の範囲を超えないようにしてください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が転倒して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

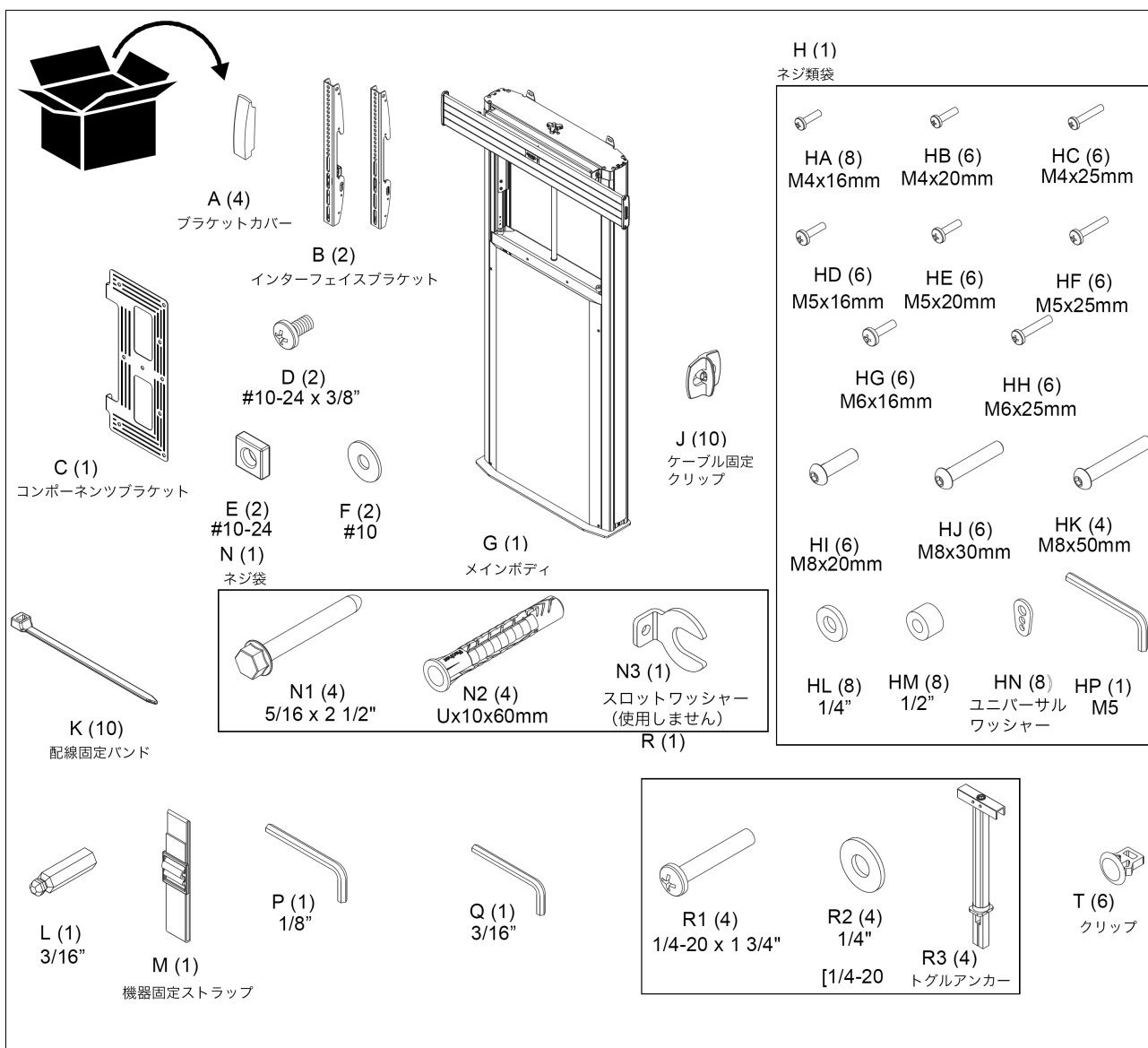
■各寸法図



■本体の組み立てに最低限準備いただく工具



■本製品の封入物



■組み立て手順

1.XFA1Uは、次の場所に設置できるように設計されています。

- ・本製品は床と壁で固定するように設計されています
- ・最低厚さ 200mm のコンクリート壁にアンカー固定
- ・16mm 厚ドライウォールの壁面に固定する場合は約 406mm 幅で固定してください
- ・床は M8 または 3/8" アンカーで固定してください

■ドライウォール固定の例

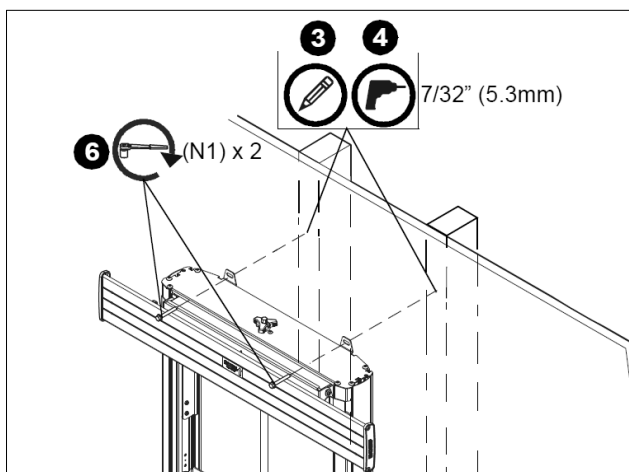


図 1

ドライウォールの背面には本製品を支えられる 2X4 材（ツーバイフォー）などのしっかりした補強材を入れてください。

■コンクリート壁の固定例

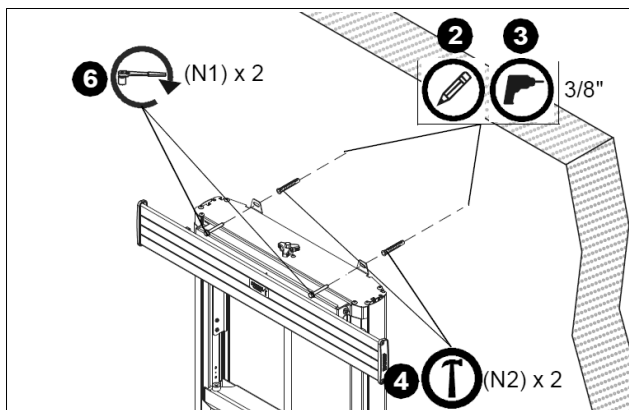


図 2

コンクリート壁の場合は、アンカー施工にてしっかりと固定してください。

アンカー固定する幅は 406mm です。

■床面のコンクリートアンカー敷設位置

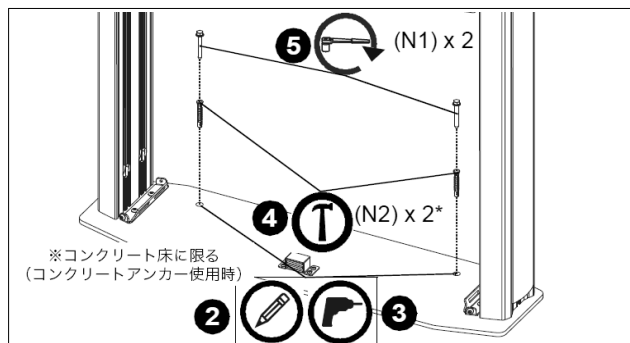


図 3

床面のアンカーは固定したい位置に本体を設置し、図のようにアンカー位置をマーキングしたあと、アンカー打設してください。

使用するアンカーサイズは 3/8" または M8 を使用してください。



注意 本製品は、床面のコンクリート打設によるボルト固定及び壁面へのボルト固定により保持されます。必ず床面と壁面の固定をしてください。

■ディスプレイの取付け方法について



警告：本製品の耐荷重を超えたディスプレイを取り付けると、装置が損傷したり重傷を負ったりする可能性があります。設置者の責任において、ディスプレイへの（およびそれを含む）XFA1U ヘッドアセンブリに取り付けられているすべてのアクセサリおよびコンポーネントの合計重量が、300 ポンド（136 kg）を超えないようにしてください。

1. キズがつかないようにマットなどの保護面にディスプレイを下向きにして置いてください。



注意：間違ったサイズのネジを使用すると、ディスプレイが損傷する原因となります！正しい径のネジは取付穴にスムーズに入っていきます。

ディスプレイの壁取付位置（HA-HK）を調べてネジの直径を選択します（4mm、5mm、6mm または 8mm）

ディスプレイの背面が出っ張っているタイプのディスプレイには、ブラケットの間にスペーサーを用いてください。



注意：不適切な長さのネジを使用すると、ディスプレイが損傷する可能性があります。適切なネジは、ディスプレイの取り付け穴の底部に接触することなく、安全に固定されます。

M8 ボタンヘッドキャップネジ（HI、HJ、または HK）を使用する場合、ユニバーサルワッシャー（HN）は不要です。

ねじの長さを適切にするには、ねじ頭の付け根が平座金の上にねじ径以上突出する必要があります。ねじの長さが足りない場合は、もっと長いねじを選択してください。

必要な距離だけ突き出る最短のネジを選択してください。

以下のことを確認しながら、支柱（B）をディスプレイに取り付けます（図 4 を参照）。

支柱の中心（B）は、設置後できるだけディスプレイの背面の中心に近くなります。ブラケットの中心は菱形の穴で示されています。

選択したネジとスペーサーを使用して、ディスプレイの背面に 2つのインターフェイスアップライト（B）を取り付けます。（図 4 を参照）

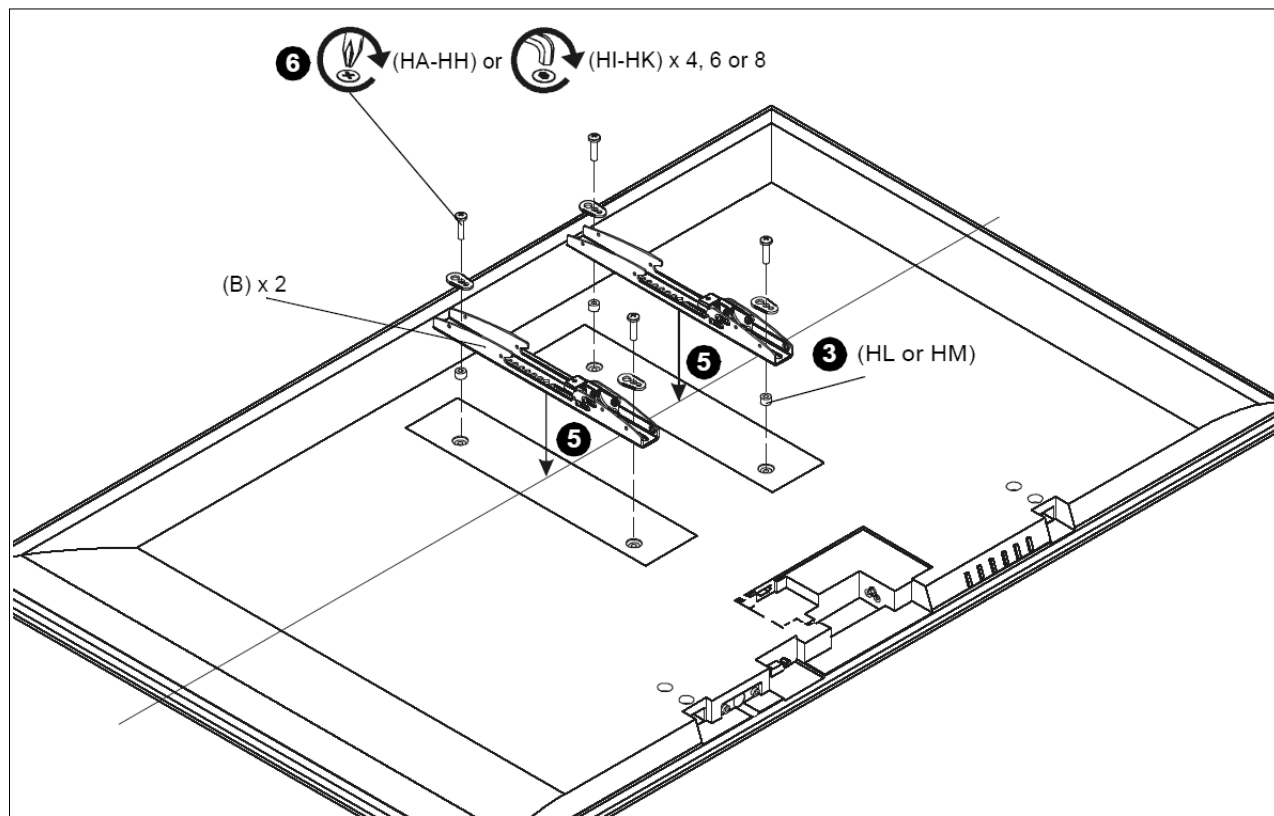


図 4



警告：ディスプレイは非常に重い場合があります。ディスプレイをマウントに取り付けるために必要に応じて安全に持ち上げて操作できることを確認します。十分な注意を払わないと、重大な人身事故または機器の損傷につながる可能性があります。

7. ラッチが「開」の位置になるように、インターフェイスラッチの上にラッチを置きます。（図9を参照）

8. ヘッドアセンブリにインターフェイスアップライト（B）を吊り下げます。（図9を参照）

重要：ディスプレイを取り付ける前に左右のノブが締められていることを確認してください。

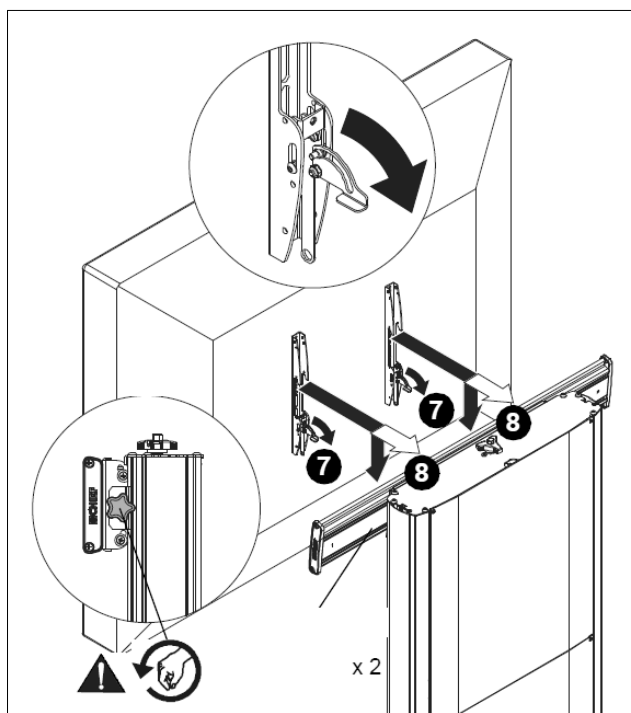


図5

重要：均等な取り付けができるように、ディスプレイが中央になるようにブラケットを取り付けます。片方に偏って取り付けないでください。（図6を参照）

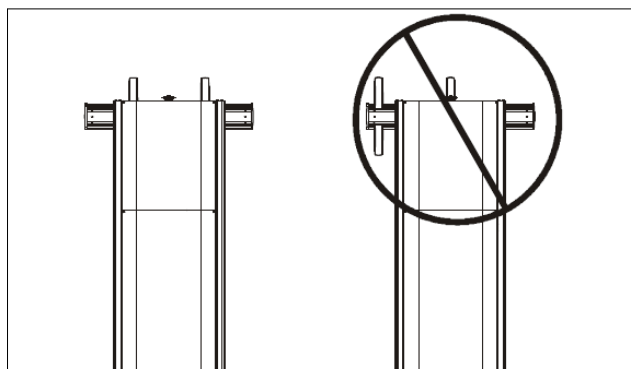


図6

9. ディスプレイをヘッドアセンブリに固定するために、インターフェイスのラッチを「閉じた」位置まで動かします。（図7を参照）

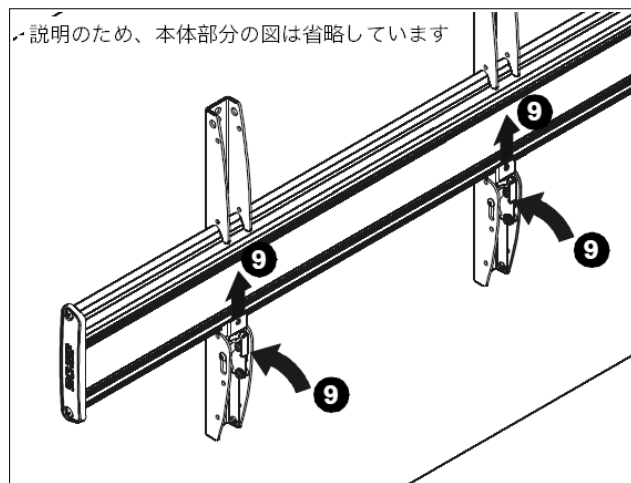


図7

10. ブラケットカバー（A）4個をブラケットにはめ込みます。（図12を参照）

注：カバー（A）の内側にあるタブは、脱落しないようにブラケットの溝にはまります。

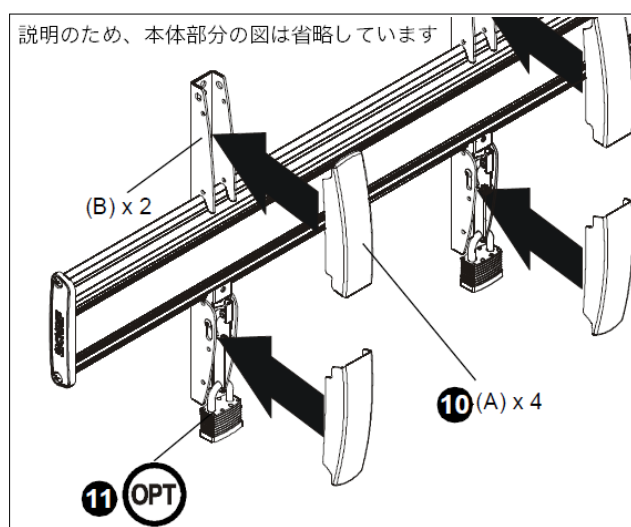


図8

11. 別売りの南京錠（付属していません）を使用して、アップライトをヘッドアセンブリに固定しますと不用意にディスプレイが取り外されることを防ぐことができます。（図8を参照）

■コンポーネントブラケットの取り付け (オプション・任意)

注：コンポーネントブラケットは支柱のどちらの側にも取り付けることができます。

メモ：コンポーネントブラケットを取り付けるには、下カバーを取り外す必要があります。詳細については、カバーの取り外しのセクションを参照してください。

1. # 10-24 x 3/8 インチのプラスネジを 2 本緩く取り付けます。

2 本の # 10 ワッシャ (F)、コンポーネントブラケット (C) の穴、2 本の # 10-24 スクエアナット (E) にネジ (D) を通します。

(図 9 を参照)

2. カラムチャンネルの 2 つの開口部に 2 個の # 10-24 スクエアナット (E) を差し込みます。(図 9 を参照)

3. コンポーネントブラケット (C) を目的の取り付け位置に持ち上げます。

(図 9 を参照)

4. ネジを 13.6Nm (10ft-lbs) のトルクで締めます。

(図 9 を参照)

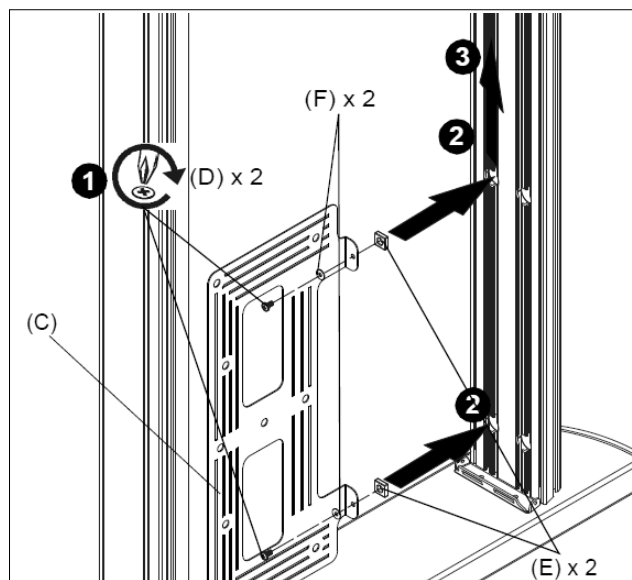


図 9



警告：耐荷重を超えると、重大な怪我や機器の損傷につながりますので、取付業者の監修のもと安全に設置してください。

コンポーネントに取り付けられているすべてのアクセサリおよびコンポーネントブラケット (C) が 10 ポンド (4.54 kg) を超えないようにしてください。

耐荷重の範囲を超えて設置することは、機器の損傷につながる可能性があります

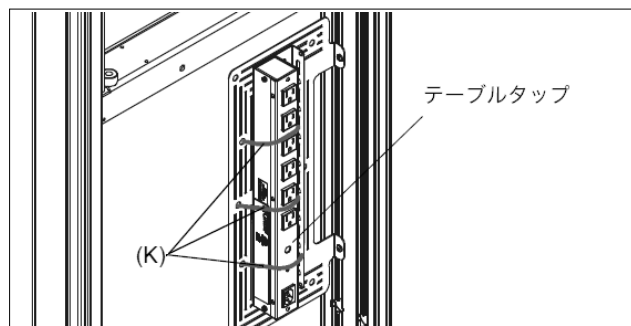


図 10

■CPU の取付 (オプション・任意)

メモ：CPU 等を取り付けるには、下カバーを取り外す必要があります。詳細については、カバーの取り外しのセクションを参照してください。

図のように付属の (M) ストラップを使用して CPU を柱ブラケットに巻くようにしてセットしてください。(図 11 を参照)



警告：耐荷重を超えると、重大な怪我や機器の損傷につながりますので、取付業者の監修のもと安全に設置してください。

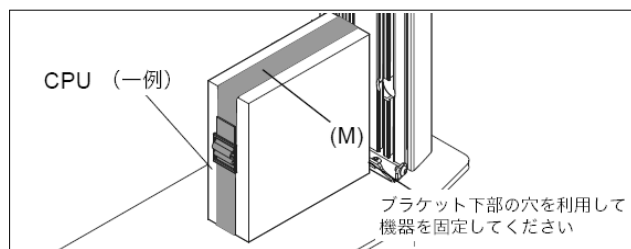


図 11

■カバーの取り外し

メモ：前面カバーには、セキュリティを強化するために4つのボタンヘッドキャップネジが取り付けられています。但し、マウントの内部にすばやくアクセスするために、ドアの内側にある磁石を使ってドアを閉じることができるので、これらのネジを再度取り付ける必要はありません。

1. 前面カバーを固定している4本のボタンヘッドキャップネジを外します。（図12を参照）
2. 前面カバーをマウントから取り外します。（図12を参照）

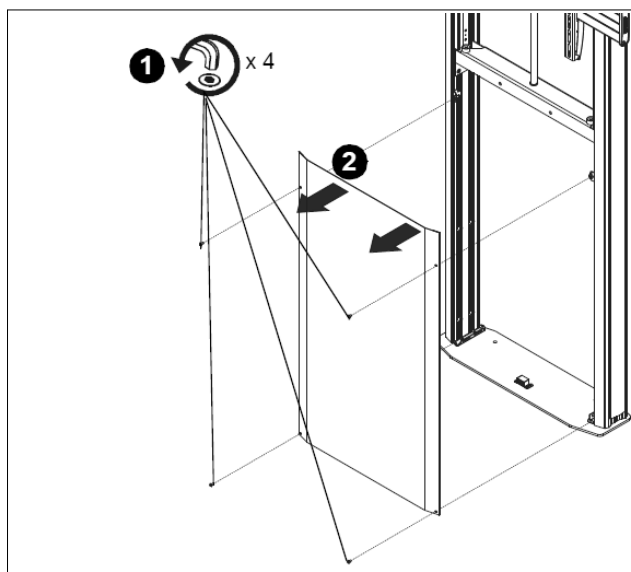


図 12

3. 必要に応じアクセサリ等を取り付けます。
4. マグネットを使用して前面カバーをマウントに戻します。さらにセキュリティを確保する必要がある場合は、4本のネジを取り付けます。（図13を参照）

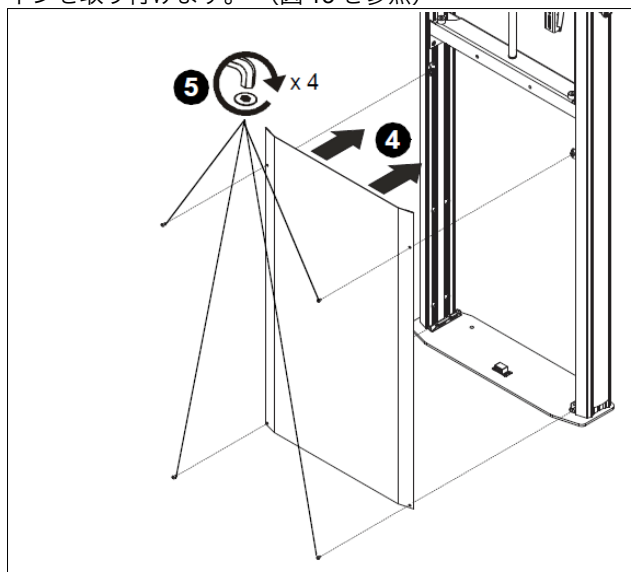


図 13

■ケーブルマネージメント

メモ：次のケーブルマネージメントは、ディスプレイの種類とユーザーの希望によって配線レイアウトが異なります。

1. クリップハンドルを垂直位置にして、FCA クリップ (P) をレールの背面の溝に入れます。（図14を参照）
2. クリップハンドルが水平位置になるまで、FCA クリップ (P) をどちらかの方向に90°回転させます。（図14を参照）
3. 取り付けるすべてのクリップについて同様の手順を繰り返します。

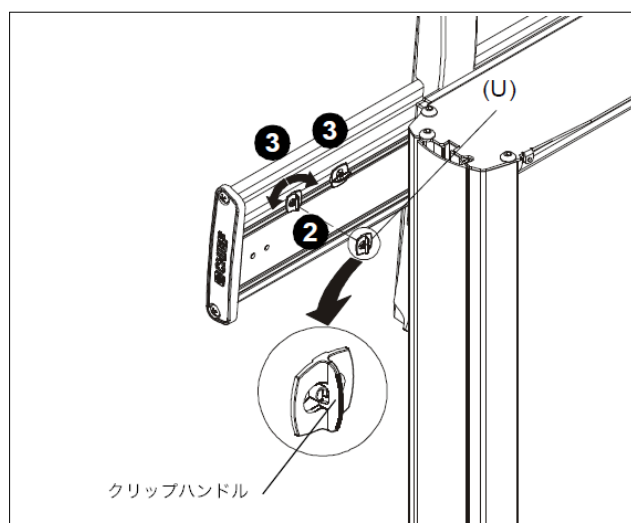


図 14

4. ケーブル管理に使用する FCA クリップ (P) に沿ってケーブルを配線します。（図15を参照）
5. ケーブルタイ (Q) を使用してケーブルを FCA クリップ に固定します。（図15を参照）

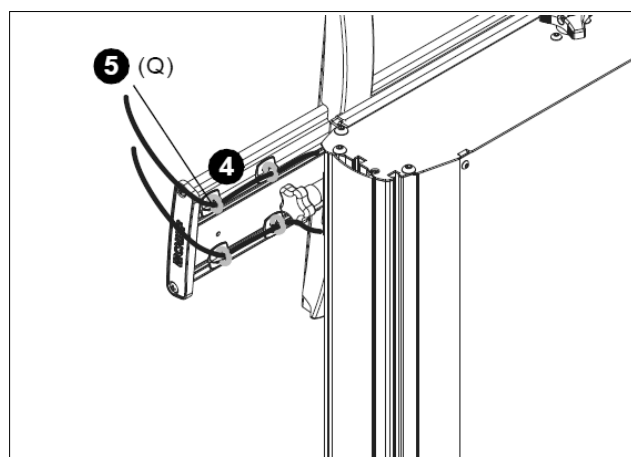


図 15

6.必要に応じて、ケーブルタイ（K）またはケーブルクリップ（T）を使用して、ディスプレイからケーブルをケーブル管理取り付けポイントまたはアクセサリブラケット（あるいはその両方）に取り付けてケーブルを通します。（図 16 を参照）

重要：ディスプレイが最も高い位置にあるときにケーブルを配線し、ケーブルに負担をかけずに高さを調整できるように十分なたるみがあることを確認してください。

注：高さ調整ノブの真上でボルトを回して高さを調整するために、1/2 インチ（13mm）ソケットレンチまたはドリルを使用することもできます。

4.ヘッドアセンブリの両側にある2つの固定つまみを締めます。（図 19 を参照）

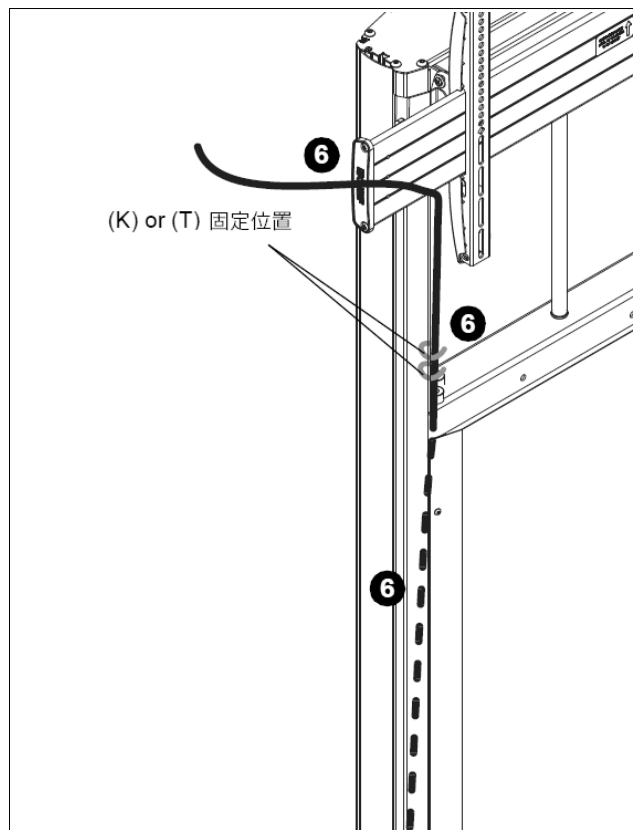


図 16

調整

高さ調整

1.ヘッドアセンブリの両側にある2つの安定つまみを緩めます。

（図 21 を参照）

2.高さ調整ノブを時計方向に回して表示を上げます。

（図 21 を参照）

3.高さ調整ノブを反時計回りに回してディスプレイを下げます。（図 21 を参照）

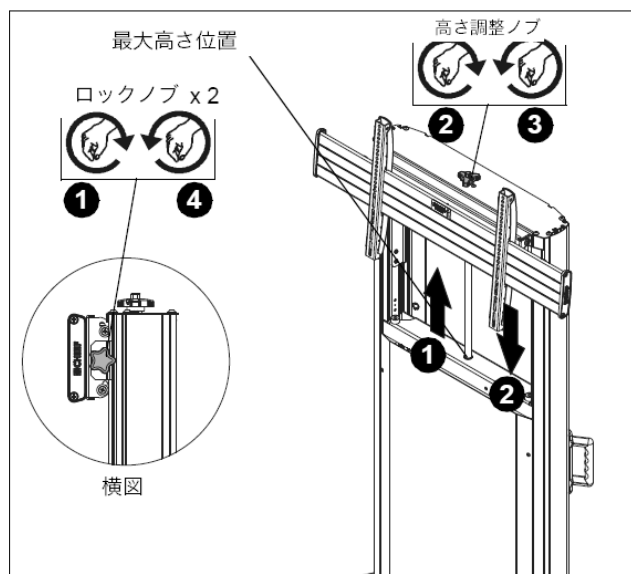


図 17

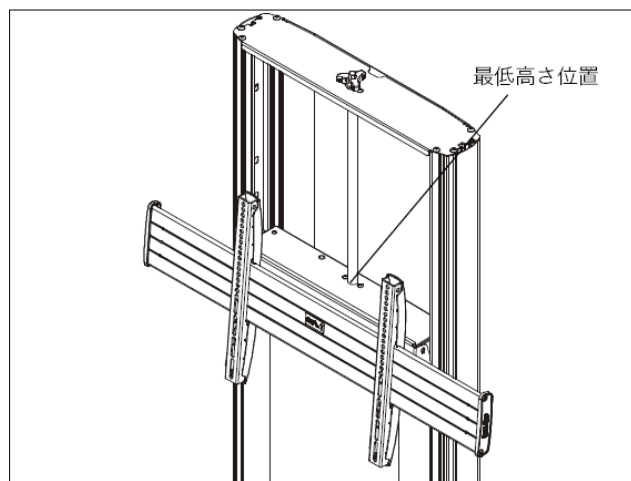


図 18



警告：高さ調整ノブを上限または下限を超えて上げたり下げたりしないでください。最高点と最低点を図 17 と図 18 に示します。

■ピッチ（傾き）調整



警告：ディスプレイを取り付けた状態でピッチ調整ネジを取り外すと、ディスプレイがマウントから落下することがあります。

ディスプレイをマウントに取り付けた状態ではピッチ調整ネジを完全に外さないでください。

5.ヘッドアセンブリの両側にある2つの固定つまみを緩めます。

（図 19 を参照）

6.ピッチ調整ネジを緩めてピッチを調整します。（図 19 を参照）

7.ピッチを調節します。（図 19 を参照）

8.ピッチ調整ネジを締めてピッチ位置を固定します。

（図 19 を参照）

9.ヘッドアセンブリの両側にある2つの固定つまみを締めます。

（図 19 を参照）

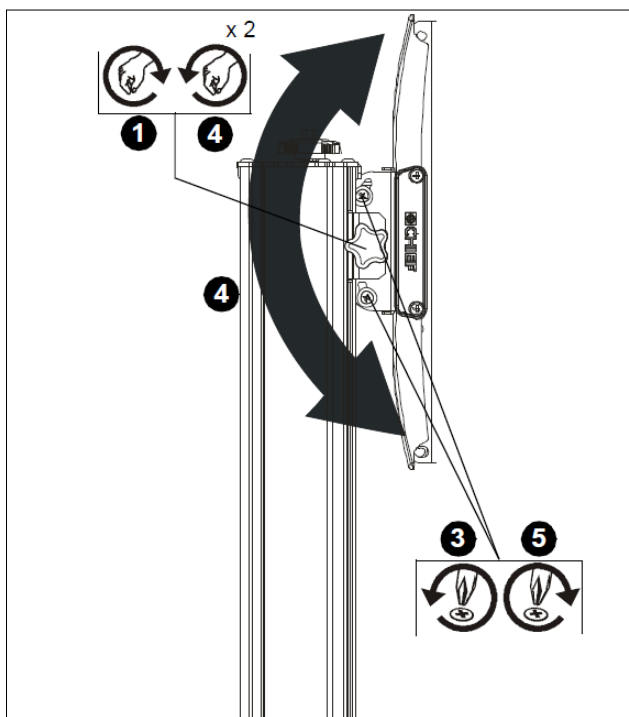


図 19

<http://www.avc.co.jp/>

AVC 株式会社
映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.

■システム販売事業部

<首都圏> 〒135-0063 東京都江東区有明 3-7-18 有明セントラルタワー 8階
<関 西> 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-18-25

TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144